



愛称「マナボー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2008 Dec.

vol. 14

「2000単位取得の軌跡」

榎本 聰子



道民カレッジを始めてから2年5ヶ月で2,000単位を取得した。ほとんど毎日が講座通いだ。それが習慣になってしまったのか「明日はどこ講座へ何時に行く」と考えながら床に就く。

病気のために心身が自由にならなかった20年を経て、今は病気と上手に付き合いながら学ぶことのできる毎日が楽しく、まるで何かに押されるように講座に通う。距離の遠いところでもいとわずに出前講座では帯広、上湧別、厚岸までも行き、一般講座では旭川、千歳、江別、当別あたりまでは出かけていく。深川の道立青年の家には2年続けて参加し、学問や知識とはまた異なった人との交流を学ぶ。

そんな中で日ごろ出会うことのできない人たちとの出会いを得ることもあり、欠くことのできない大切な友人もできた。

また、中学1年の時の担任の先生とは、その時代から音信が途絶えていたが56年ぶりにふとしたことから連絡先が分かり、真狩の出前講座では先生の活動チームの発表もあったりして82歳にもなられた先生の活動ぶりに心躍らせたりもした。

国際大学や教育大学では授業公開講座で学生さんと一緒に講義を受け、レポートなども一緒に提出したりしながら若い息吹までもいただいくる。

すっかり老化現象を来した頭だが、少しでもブレーキを掛けるには、これを根気よく繰り返すしかないと考えている。

高校の先生とも顔見知りになり「うちの生徒も榎本さんほど勉強をしてくれれば良いのだがなあ」と笑っておっしゃることもある。

そのように楽しみながら一生懸命通っているうちに2,000単位に達してしまった。

しかし、頭のみならず身体の方も反射神経が鈍くなっているのか、ちょうど2000単位に達した直後に自分の不注意から転倒し怪我をした。

奨励賞を受賞する日は入院をする直前でギブスをしての出席、その後入院と手術を余儀なくされ、今も松葉杖のお世話になりながら連携講座に出席するのを楽しんでいる。

元気に動き回っているときには気付かなかった人の親切や思いやりがたくさん受けられ、人の優しさが良く分かる。行き交う人すべての人がいろんな配慮をしてくれる。学生さんなども教室のドアを開けてくれたり、机の並びが悪くて歩きにくい時は私の松葉杖が目に入ったら歩くところを広くしてくれるなど細かい心づかいが手に取るように感じ、何だか怪我をして得がたい人の心遣いに心が温かい。第三者から見ると「どうして松葉杖をつきながら、滑る道を苦労して講座に来るのだろう」と映るだろうと思うが、とにかく講座に行っている限りはいくら疲れても、時には居眠りが出る時があっても楽しいのだ。

高齢に達してから学ぶということは、どうしても体力も頭脳も若い時とは違ってついていけない部分もあるが、学ぶということを捨ててしまえば老化の坂をまっしぐらということになりかねない。

日ごろ道民カレッジで学びながら考えるのは“単位”とか“称号”ってなんだろうということ。それは生涯学習という長い旅の途中で単位は一步ずつの足の運び、称号はその旅の途中にある一里塚で自分が楽しみながら、どれだけ歩いたかという目安だと思う。急いで進んだからと言ってどうというものではないと思っている。カレッジ生のすべての人がそれぞれの歩み方があって良いのではないだろうか。その人に合った旅の仕方をするものであり、精神的に疲れないためにも決して競い合いをするものではなく、励まし合うものだと考えている。

私は20年前に心臓停止をし、臨死体験をしてから、人様の役に立つ生き方、充実感を味わえる生き方をしたいと深く考えるようになったが、道民カレッジに出会って充実感を味わいながら毎日を通している。それと多少パソコンをいじれるので人に手ほどきをし、札幌市生涯学習センターのインストラクターとして登録をした。この二つは私の生きがいだ。これからも元気に楽しみながら継続していきたい。

道民カレッジの現状

(平成20年12月26日現在)

道民が、いつでも、どこでも、学びたい時に学ぶことができる「道民カレッジ」は、今年で9年目を迎えました。ここで道民カレッジの現在の状況をお知らせします。

◎学 生 数 22,629人 (男性 9,867人 女性 12,762人)

◎管内別学生数

管 内	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	留 萌
受 講 生	8,118人	1,046人	1,014人	1,297人	1,014人	2,904人	765人
管 内	宗 谷	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室
受 講 生	733人	1,447人	676人	1,109人	695人	1,040人	771人

◎称号取得者

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞 (1,000単位)	学長奨励賞 (2,000単位)
290人	179人	128人	20人	2人

お知らせ

「ほっかいどう学」大学放送講座は、いつでも視聴できます。

主催講座の大学放送講座は、道内8大学の参加のもと、HBC北海道放送でテレビ放送されておりましたが、11月22日（再放送11月29日）をもって終了いたしました。視聴できなかった講座につきましては、下記の方法でビデオやインターネットの動画サイトで視聴することができます。

なお、インターネット放送は、平成21年3月31日まで開設しております。市町村の図書館等に設置していますパソコンから何時でもご覧になれます。

①HBC 北海道放送

ほっかいどう学BB <http://manabi.hotnet.co.jp>

HBCが北海道総合通信網株式会社（HOT net）と共同制作したインターネット動画サイトです。

②放送ビデオの活用と貸し出し方法

「大学放送講座」放送ビデオまたはDVDを道内各市町村と高等学校へ貸し出す予定です。（ビデオ・DVDは公的機関への貸し出しとなります。）

「大学放送講座」の終了後、1月～9月を予定しています。

③情報交流広場

かでの2・7ビル9階 ビデオレファレンスコーナーでも、大学放送講座のビデオを視聴できます。（1月中旬～9月までの予定）

講座内容

放送日時		大学名 講師名	テーマ
第1回 再放送	10月4日(土) 10月11日(土)	東海大学 西村 弘行 副学長	北海道生まれの健康食品 ～美容と健康の維持に向けて～
第2回 再放送	10月11日(土) 10月18日(土)	北海学園大学 岩崎まさみ 教授	多民族社会北海道 ～多様な文化の発展へ～
第3回 再放送	10月18日(土) 10月25日(土)	北海道医療大学 向谷地生良 教授	こころの病からの回復 ～北海道のすぐれた実践例～
第4回 再放送	10月25日(土) 11月1日(土)	北海道教育大学 住田 和子 教授	北の大地と暮らしの品格 ～現代の生活スタイル再考～
第5回 再放送	11月1日(土) 11月8日(土)	北海道情報大学 角井 穆 教授	北海道発展論 ～ITがもたらす農業・漁業のハイテク化～
第6回 再放送	11月8日(土) 11月15日(土)	北海道大学 柿澤 宏昭 教授	森林と人がつくる未来 ～持続可能な社会を目指して～
第7回 再放送	11月15日(土) 11月22日(土)	東京農業大学 生物産業学部 永井 毅 教授	北海道が誇る！ かまぼこづくり ～オホーツクから世界へ～
第8回 再放送	11月22日(土) 11月29日(土)	旭川大学 吉地 望 准教授	地域通貨を生かす ～活気あるまちづくりを目指して～

「ほっかいどう学」出前講座の開催一覧

回数	実施日	開催地	テーマ
第1回	H20.10.18	伊達市	「世界に誇る北海道・北東北の縄文遺跡群を学ぶ」
第2回	H20.11.22	厚岸町	「厚岸町の自然環境とまちづくりⅡ」
第3回	H20.12.14	当別町	「地域の子どもは地域で育てる」
第4回	H20.12.20	占冠村	「地域医療・福祉とまちづくり」
第5回	H21. 1.17	津別町	「ボランティアによる人材育成」
第6回	H21. 1.24	帯広市	「地域の価値、再発見、これからのまちづくり」
第7回	H21. 2. 1	浦河町	「魅力ある地域づくりのために人の輪を広げよう」
第8回	H21. 2. 2	羽幌町	「シニア世代の地域参加」
第9回	H21. 2.17	釧路町	「自分のまち知ってますか？～まちを知り、町とともに生きる～」
第10回	H21. 2.19	鹿部町	「海と温泉の町・鹿部温泉を活性化させる」
第11回	H21. 2.25	真狩村	「食と農で元気な“まち”と“ひと”づくり」
第12回	未定	奈井江町	未定

平成20年度『ほっかいどう学検定合格者の集い』

- 1 趣 旨 平成20年度ほっかいどう学検定を受検し合格した人たちを対象にし「ほっかいどう学」の継続的な学習を奨励するとともに参加者相互のネットワーク化を図ることをねらいとして実施します。
- 2 主 催 ほっかいどう学検定推進機構
- 3 主 管 (財)北海道生涯学習協会
- 4 期 日 平成21年2月28日(土) 9:30~12:00
- 5 会 場 北海道立道民活動センター(かでの2・7 ホール 1階)
- 6 参加対象者 平成20年度ほっかいどう学検定合格者 定員500名
定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 7 内 容
 - (1) 開 会
 - (2) 経過説明
 - (3) 来賓挨拶
 - (4) 記念講演 演題 「今、歴史が甦る」
講師 ノンフィクション作家 合 田 一 道 氏
 - (5) そ の 他 *参加者から希望者を募り、研究団体を立ち上げる計画を事務局より提案する予定です。(第1回総会になります)
 - (6) 閉 会

お申込み(お問い合わせ)は、下記あてをお願いします

- 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7ビル(財)北海道生涯学習協会
- TEL 011-231-4111(内線36-331 または 36-332、36-343) ○FAX 011-281-6664
- eメール domincollegevol@key.ocn.ne.jp または college@hsgk.jp

備 考 本集いに参加した道民カレッジ生に必修1単位またはほっかいどう学2単位を認定します。(道民カレッジ生は、カレッジ手帳をご持参ください。)

「検定合格会員証」(仮称)が発行されます

平成20年度「ほっかいどう学検定」合格者に対し、検定合格会員証を発行することとなりました。

この会員証の大きさは、名刺サイズより一回り大きめになりますが、ポケットに楽に入る大きさで持ち運びに大変便利です。

また、この合格証の特徴は、裏面にある道内各地の主として社会教育施設等に合格証を見せることにより入場料等が割り引かれることです。

詳細は次号にてお知らせ致します。

道民カレッジボランティアに参加しませんか

道民カレッジボランティアには、事務局で活動している「本部ボランティア」と道内各地で活動している「地域ボランティア」があります。

地域ボランティアの皆さんは、それぞれの地域の機関・団体が実施している講座の連携依頼やカレッジ生の勧誘のほかに、学習相談や出前講座や関連事業における運営協力などを行っております。

道民カレッジでは、随時ボランティアを募集していますのでご希望される方は、下記にご連絡ください。なお、地域ボランティアの拠点となり活動している地域は、道北圏(旭川市他)、道南圏(函館市他)、十勝圏(帯広市他)、オホーツク圏(北見市他)、道東圏(釧路市他)です。

(財)北海道生涯学習協会内 道民カレッジ事務局

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目

かでの2・7(9階)

Tel 011-231-4111(内線36-343)

Fax 011-281-6664

E-mail domincollegevol@key.ocn.ne.jp

【学長奨励賞】(2,000単位)

榎本 聡子 (札幌市) 中嶋 深幸 (札幌市)

【学長奨励賞】(1,000単位)

永井 頼恵 (江別市) 逢坂 利昭 (札幌市) 丸川 和宏 (当別町)
伊藤金五郎 (札幌市) 斎藤 和男 (札幌市) 大方 英雄 (旭川市)

新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成20年3月15日～平成20年12月25日)
(敬称略)

【道民カレッジ博士】

榎本 聡子 (札幌市)	豊田カヨ子 (札幌市)	伊藤金五郎 (札幌市)
中嶋 深幸 (札幌市)	大西 光一 (帯広市)	飛谷 昭一 (旭川市)
郷司 明夫 (江別市)	鈴木 久美 (札幌市)	佐々木 伸枝 (帯広市)
蛭川 剛之 (江別市)	川原 一成 (札幌市)	田中 豊實 (音更町)
永井 廣 (石狩市)	高畑 司 (札幌市)	加藤 利昭 (札幌市)
大方 英雄 (旭川市)	今野 義信 (旭川市)	石岡 由利子 (鹿部町)
菅原セイ子 (札幌市)	荻野 貞範 (千歳市)	落合 俊忠 (札幌市)
石原 照子 (函館市)	山吹 英男 (音更町)	石岡 六和 (鹿部町)
川村 豊 (旭川市)	石川 弥一 (札幌市)	橋詰 正和 (札幌市)
早坂 惇司 (札幌市)	佐々木 光雄 (札幌市)	金田 英男 (帯広市)

【道民カレッジ修士】

田村 恒夫 (釧路町)	榎本 聡子 (札幌市)	大西 光一 (帯広市)
佐々木 伸枝 (帯広市)	石川 弥一 (札幌市)	豊田カヨ子 (札幌市)
佐藤 文彦 (帯広市)	上田 純一 (美幌町)	三浦 義松 (札幌市)
石原 富士雄 (函館市)	石原 照子 (函館市)	山吹 英男 (音更町)
高橋 公一 (札幌市)	石岡 六美 (鹿部町)	川原 一成 (札幌市)
岩佐 勢津子 (帯広市)	伊藤金五郎 (札幌市)	岡本 武雄 (由仁町)
橋詰 正和 (札幌市)	大方 英雄 (旭川市)	今野 義信 (旭川市)
小山内 純一 (札幌市)	菅原セイ子 (札幌市)	宇賀 邦久 (札幌市)
藤田 恵子 (江別市)	松浦 数義 (札幌市)	木村 信敏 (札幌市)
渡辺 実 (旭川市)	平川 省三 (滝川市)	酒井 清美 (湧別町)
斎藤 和男 (札幌市)	川村 豊 (旭川市)	小嶋 舞子 (北斗市)
深畑 千恵子 (札幌市)	丸川 和宏 (当別町)	箕浦 義則 (帯広市)
本間 孝 (江別市)	柿倉 桂三郎 (北見市)	小川 義子 (中札内村)
金田 英男 (帯広市)	三浦 清富 (北見市)	塚越 孝義 (札幌市)
大谷 弘知 (札幌市)	五郎部 勇 (札幌市)	

【道民カレッジ学士】

山吹 英男 (音更町)	深畑 千恵子 (札幌市)	石川 弥一 (札幌市)
佐々尾 雅志 (札幌市)	笹塚 篤 (札幌市)	今野 武藏 (美瑛町)
占部 一誠 (苫小牧市)	佐藤 寛 (恵庭市)	永原 清 (札幌市)
木村 信敏 (札幌市)	坂本 曠光 (北見市)	箕浦 義則 (帯広市)
田村 恒夫 (釧路町)	高橋 公一 (札幌市)	大崎 喜代志 (遠軽町)
小山 孝義 (札幌市)	酒井 清美 (湧別町)	飛谷 昭一 (旭川市)
菊地 忠孝 (札幌市)	川原 一成 (札幌市)	喜多 馨 (江別市)
高畑 司 (札幌市)	久保田 和夫 (旭川市)	大方 英雄 (旭川市)
今野 義信 (旭川市)	柿倉 桂三郎 (北見市)	町田 宏子 (札幌市)
伊藤 孝三 (えりも町)	門前 敬子 (札幌市)	北川 嘉子 (札幌市)
菅原セイ子 (札幌市)	内田 美佐子 (音更町)	藪谷 義雄 (帯広市)
田中 豊實 (音更町)	伊藤 美知子 (北広島市)	由田 笑子 (札幌市)
藤田 恵子 (江別市)	香月 悦子 (札幌市)	鏡山 義雄 (札幌市)
犬養 希佑 (札幌市)	中野 和子 (函館市)	川村 豊 (旭川市)
田中 博 (札幌市)	五郎部 一昭 (札幌市)	松浦 数義 (札幌市)
伊藤 義孝 (芽室町)	上野 繁 (札幌市)	佐野 優 (江別市)
林 葵 (帯広市)	酒井 公枝 (湧別町)	田仲 可昌 (森町)
田仲 尚子 (森町)	前田 昭宏 (札幌市)	

最近の事業から



カレッジだより Vol.14

平成20年12月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
財団法人 北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階
TEL (011) 231-4111(内線36-343) FAX(011) 281-6664
URL <http://www.hsgk.jp/college/> Eメール college@hsgk.jp

